

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2022年6月28日

静岡県知事
川勝 平太殿

提出者

住所 静岡県掛川市浜野2940-143

氏名 株式会社 サンユウ

代表取締役 鈴木敬規

電話番号 0537-72-5026

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 サンユウ
事業場の所在地	静岡県掛川市浜野2940-143
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	金属製品製造業(電気鍍金、金属表面処理業)
② 事業の規模	2039百万円
③ 従業員数	45名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

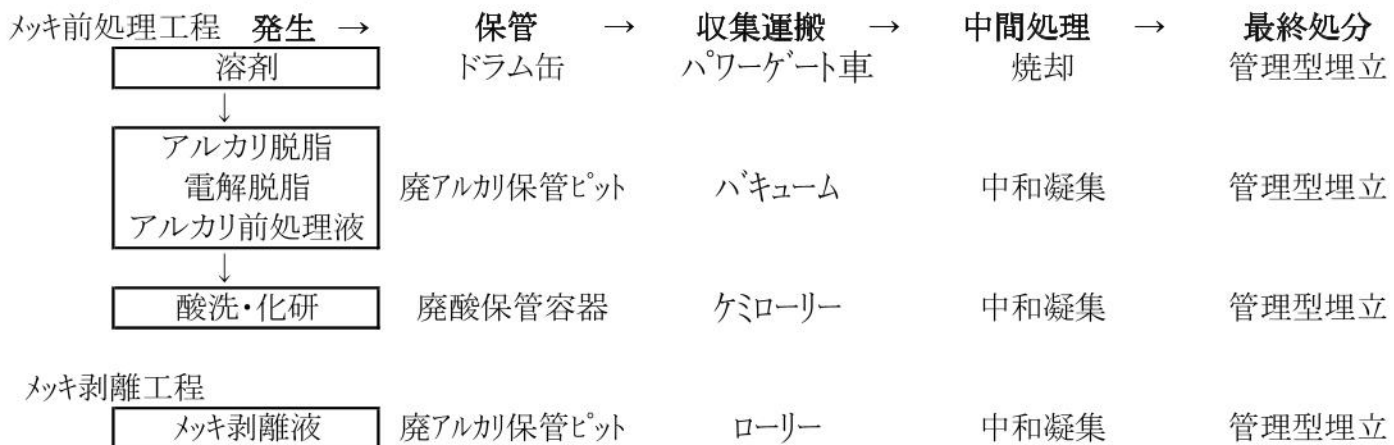
特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図) 別紙のとおり 第6面				
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（令和2年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	排 出 量	45 t	21.07 t	5.6 t
	(これまでに実施した取組) ①強廃酸は、毎日20ℓ/7時間排水で希釈後に中和凝集沈殿の促進として減量 ②強アルカリは、収集毎分析して、有害物質が基準値以下であることを確認			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	排 出 量	45 t	21 t	5.5 t
	(今後実施する予定の取組) これまで実施した取組は、継続して減量に努める。 廃液の内、排水処理施設で処理可能な液に的を絞って、少量ずつ処理、問題の有無を確認した後に良好ならば、目標を設定する。			
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 強アルカリ（有害）及び強酸（有害）と引火性廃油に分類			
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（令和2年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していません。			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。			
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（令和2年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により 減量した特別管理産業廃棄物の 量	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 実施していません。				
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により 減量する特別管理産業廃棄物の 量	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。				

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和2年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していません。			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はありません。			
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和2年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	全 処 理 委 託 量	45 t	21.07 t	5.6 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	45 t	21.07 t	5.6 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 契約書を取り交わし、委託基準に従い、特別管理産業廃棄物を優良認定 処理業者に全て委託処理実施しています。				

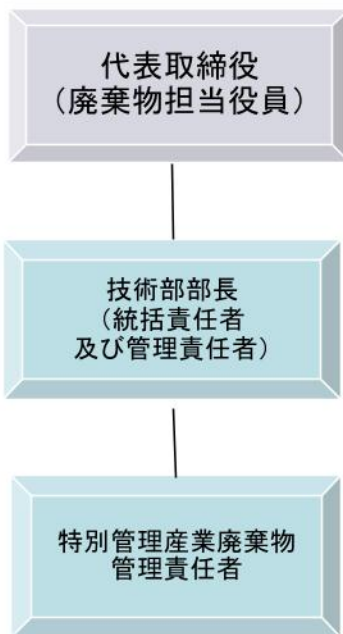
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ (有害)	強酸(有害)	引火性廃油
	全 処 理 委 託 量	45 t	21 t	5.5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	45 t	21 t	5.5 t
	再生利用業者への処理 委 託 量	0 t		0 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t		0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t		0 t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者へ強アルカリ (有害) 及び強酸(有害) の全量処理委託。 委託先処理業者を年1回以上現地確認を実施する。			
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度実績(令和2年度) 実績】			
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	58.33 t		
(今後実施する予定の取組) 令和2年度から J W n e t を利用した電子マニフェスト運用をしている。				
※事務処理欄				

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 (第6面)



管理組織図

廃棄物管理組織(株)サンユー



備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。